

# 京都市職員優秀提案発表会「トライ！京舞台」及び表彰式 プログラム

日時：平成31年4月17日（水）

9：00～12：00

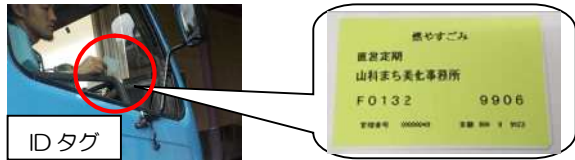
会場：京都御池創生館地下1階研修室



## 1 優秀提案発表会 （9：00～11：15）



	件名	発表者所属	表彰区分
①	ごみ収集車の識別にIT革新	環境政策局適正処理施設部施設整備課	市長賞
②	オープンデータ超活用！“駐輪場が見つかるアプリ”できました	総合企画局情報化推進室統計解析担当	市長賞
③	「伝える」を「伝わる」に案内サインから始める意識改革	都市計画局建築指導部	市長賞
④	新庁舎移転に向け、理想の執務環境を目指す！～快適業務サービス～プロジェクト	建設局土木管理部道路明示課	“きょうかん”賞
⑤	地域力を活かして空き家問題の解消を目指そう！	山科区役所地域力推進室総務・防災担当	市長賞
⑥	地域ぐるみでコストダウン！！まちに防犯カメラ増設作戦	山科区役所地域力推進室まちづくり推進担当	市長賞
⑦	幸せ一杯！夢一杯！～「いい夫婦の日」に京北で届出挙式～	右京区役所京北出張所	市長賞
⑧	ヤクルトレディが伏見消防団に入団 ～地域の皆様に「健康」と「安心安全」をお届けします～	消防局伏見消防署醍醐消防分署	市長賞
⑨	地下鉄四条駅階段通行区分～ズバッと分けたい～	交通局高速鉄道部運輸課	市長賞
⑩	自動券売機における「地下鉄一日券」発売による効果について	交通局高速鉄道部電気課	市長賞

## 3 表彰式 （11：15～11：45）

## 4 閉会 （11：45）

件名	<h1>ごみ収集車の識別に IT 革新</h1>
発表者 所属	<p>環境政策局 適正処理施設部 施設整備課</p>
改善前 (課題等)	<p>ごみ収集車の識別に使用している ID タグの毎年の運用に係る費用が増大</p>
内容	<p>本市では、収集したごみの量と種類を正確に把握するため、ごみ収集車がごみ処理施設（クリーンセンター等）へごみを搬入する際に、車両情報とごみ種別等を記録した「ID タグ」という無線通信の機能を有した識別機器を使用している。具体的には、各ごみ処理施設の車両ごとに重量測定できる計量機（トラックスケール）において無人で自動計量するとともに、ID タグの情報を読取り、記録データとして保存している。</p> <p>機種変更する以前に使用していた ID タグが製造中止となったことを契機に、新たな ID タグの導入を検討し、平成 29 年度から導入した。</p> <p>【工夫した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ID タグの取扱い運用をできるだけ変えないこと</li> <li>○ 以前に使用していた ID タグは、電池を内蔵していたため、電池の寿命（5 年）を考慮して、毎年 400 枚以上の予備を購入する必要があったことから、電池を内蔵せずに永年使用できるカードタイプに変更すること。</li> </ul> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>
効果	<p>ID タグの無線の通信規格を海外メーカー（タグマスター社）独自規格から国際規格 ISO/IEC 18000-63 へ変更し、ID タグ及び読取り装置の購入に関してメーカーを問わなくなったため、競争原理が働き、毎年の運用に係る費用を変更前に比べて大幅に削減できた。</p>

<p>件名</p>	<p style="text-align: center;">オープンデータ超活用！ “駐輪場が見つかるアプリ” できました！</p>
<p>発表者 所属</p>	<p style="text-align: center;">総合企画局 情報化推進室 統計解析担当</p>
<p>改善前 (課題等)</p>	<p>市民・観光客 「駐輪場の場所がよく分からない、たどり着いても満車で駐輪できない」 京都市自転車政策部署 「駐輪環境改善の取組が、市民や観光客の方に十分伝わっていない」 駐輪場事業者 「利用者へのきめ細かな対応ができていない。駐輪場入口が分かりにくく使ってもらえない」</p>
<p>内容</p>	<p>① 東京大学公共政策大学院主催の政策立案コンテスト「チャレンジ！！オープンガバナンス（COG）2017」に京都市として参加，地域課題「自転車等を活用した持続可能な観光・交通」を提示，解決に役立つデータ（市内駐輪場の位置情報）をオープンデータ（自由に使えるデータ）として公開</p> <p>② 市民からのアイデアを募集 → 市民チーム「京の歴史と街並みをつたえ隊」が結成される。</p> <p>③ 市民チームが，統計データ（駐輪場の収容台数）やヒアリングデータ（なぜ駐輪場を利用しないのか）を分析 → 需要と供給のミスマッチが課題 → 解決案として，駐輪場検索アプリ「chariP naVi」を市民の手で作成</p> <p>④ 市民チームのアイデアと，本市からのサポートが高く評価され，COG2017で最高賞を受賞！</p> 
<p>効果</p>	<p>○ これからは，地域が抱える様々な課題に対して行政だけが単独で解決する時代ではない。</p> <p>○ 市民，研究者，IT 専門家，企業等が一体となり自分の課題として取り組み，行政は所管施設等へのチラシの配架，関係機関との橋渡し等，効果的にサポートする仕組みを作ることができた。</p> <p style="text-align: center;">取組は継続中</p>  <p style="text-align: center;">（市営駐輪場にアプリのチラシを配架）</p>

<p>件名</p>	<p>「伝える」を「伝わる」に ～案内サインから始める意識改革～</p>
<p>発表者 所属</p>	<p>都市計画局 建築指導部</p>
<p>改善前 (課題等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築指導部の窓口は、もともと建築士などの専門家が主に来られる窓口であったが、今では不動産業界の方など、年間2万人以上の来客があり、毎日混雑する窓口に変化した。</li> <li>課名サインだけでは目的の場所が見つからず、各係等でサインを追加設置したものの、デザインの統一がなく、かえって混乱を生じ、訪問した市民が窓口を間違える姿が多くみられた。</li> </ul>
<p>内容</p>	<p>○何をしたのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あえて委託にはせず、市職員自身で市民にとってわかりやすく「伝わる」サインを探究。</li> <li>サインデザインは部内で募集し提案を受ける形とし、その中から投票により採用案を決定。</li> <li>自ら作成することで容易な更新が可能で、新庁舎に向けたテストもでき、コストも大幅減。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>&lt;提案されたサイン&gt;</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>&lt;設置サイン&gt;</p>  </div> </div> <p>○なぜサインなのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市役所は、難しい法律や制度と市民をつなぐ架け橋。案内サインはまさにその象徴。</li> </ul> <p>○どのように応用できる？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>私たちの業務の中に「伝える」から「伝わる」にすべきことがまだまだたくさんある。</li> </ul>
<p>効果</p>	<p>課や係を間違えて訪問される市民の方が激減し、職員の案内業務の負担軽減に寄与している。また、「サインがわかりやすくなった」と職員に直接声をかけてくださる市民の姿も見られる。</p>


<p>件名</p>	<h2>新庁舎移転に向け、理想の執務環境を目指す！</h2> <h3>～快適業務サービス～ プロジェクト</h3>
<p>発表者 所属</p>	<p>建設局 土木管理部 道路明示課</p>
<p>改善前 (課題等)</p>	<p>来庁者が多い当課では、以前から窓口の混雑を改善するため様々な取組を行ってきたが、今なお、膨大な資料が分散する執務室内では、窓口対応を行ううえで、職員同士が交錯するなどスムーズな市民サービスに支障が出ることもある。今回、新庁舎移転に向け、より良い窓口対応ができるように課題を明確にした。</p>
<p>内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 膨大な資料の内容、文書量等を調査し、現在の執務室内の配置図を作成した。</li> <li>・ 保管資料について、文書の廃棄、将来の電子化・マイクロ文書化に向け整理を行った。また、月1回は「増やさず、減らそう！」を意識し、全員で5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）に取り組んでいる。</li> <li>・ 新庁舎の配置に様々な制限がある中、資料の保管場所を全員が把握でき、かつ、スムーズな窓口業務が行えることを最優先にレイアウトを検討した。</li> </ul> <p>&lt;新庁舎移転までに&gt;</p> <p>今後も継続して検討すべき課題があるものの、テーマにあるとおり、限られた条件のもと最大限に知恵と力を合わせ、理想の執務環境を目指します！</p>
<p>効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新庁舎移転後の資料の保管場所を明確化し、安全な動線を確保した配置にすることで、効率的に業務を行うことができ、快適でスムーズな窓口サービスの向上が期待できる。</li> <li>・ 今後も「増やさず、減らそう！」を心がけ、継続して5Sに取り組む習慣をつけることで、常に快適な職場づくりを目指すことができる。</li> </ul>






建設局イメージキャラクター  
けんくん





件名	<b>地域力を活かして空き家問題の解消を目指そう！</b>
発表者 所属	山科区役所 地域力推進室 総務・防災担当
改善前 (課題等)	<p>山科区内に、現在約1万戸あるといわれている空き家(※)は、単身高齢者世帯等の増加に伴い、今後、一層増加していくことが予想される。(※)空き家とは⇒常時、人が住んでいない住居のこと。</p> <p>空き家を放置しておけば、まちの景観、環境、衛生面の悪化を招き、結果として地域の資産価値の低下や地域コミュニティの活力低下など深刻な影響をもたらすことになる。</p> <p>こうした状況に対応していくためには、地域一丸となり、みんなごととして空き家問題を捉え、解消を図っていく必要がある。</p>
内容	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 65%;"> <p><b>これまでの取組</b></p> <p>○平成30年2月に空き家対策プロジェクトチームを結成。 (構成メンバー：自治連合会、学識経験者、不動産業界団体、弁護士等)</p> <p>○この取組を進めるにあたり、空き家の情報を正確に把握する必要があるため、平成30年度に山科区内約370の町内会や自治会が主体となり、学区ごとに空き家調査を実施。</p> <p>⇒地域事情に詳しい町内会や自治会が取り組むことで、より空き家に対する意識が高まる。</p> <p>調査で収集した情報をもとに、現地写真の撮影や外観調査等の2次調査を実施し、デジタルマップ上に空き家情報を入力し、空き家台帳として整備を進めている。</p> <p><b>今後の取組</b></p> <p>○空き家所有者及び連絡先を調査し、所有者判明分から、プロジェクトチームの不動産業界団体、弁護士等により、所有者に売却や賃貸等の活用を働きかけ、不動産業界団体により、空き家所有者と買い手(貸し手)、売り手(借り手)のマッチングを実施。</p> </div> <div style="width: 30%; text-align: center;">  </div> </div>
効果	<p>町内会や自治会による調査を実施することによって、地域住民の空き家に対する意識を高めるとともに、地域コミュニティの活性化等につながることを期待できる。</p>






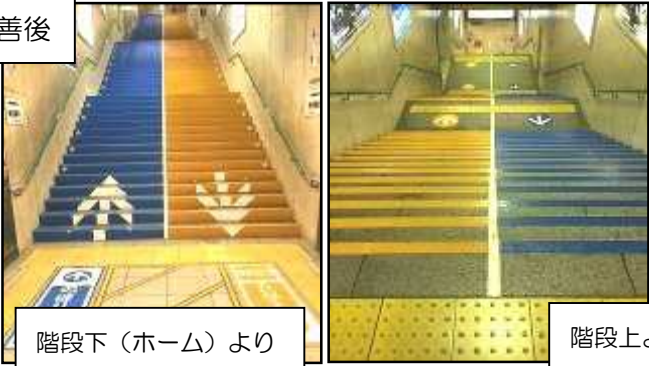
<p>件名</p>	<h2>地域ぐるみでコストダウン！～まちに防犯カメラ増設作戦～</h2>
<p>発表者 所属</p>	<p>山科区役所地域力推進室 まちづくり推進担当</p>
<p>改善前 (課題等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心で安全なまちづくりのため、防犯カメラを街中にたくさん設置することは大変効果的である。</li> <li>・京都市では各町内会等が設置する防犯カメラに対して、その費用の9割を助成しているが、防犯カメラ及び設置業者の選定は各町内会に任せているため、1台あたりの単価が高く、たくさん設置してもらえなかった。</li> </ul>
<p>内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度から、1台あたりの単価を可能な限り安くし、各町内会が設置しやすくなる仕組みを山科区独自のモデル事業として、立ち上げた。</li> <li>・「世界一安心・安全おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動 山科区推進協議会」が補助実施主体として、防犯カメラ本体と、設置業者の見積合わせを複数の業者でそれぞれ実施し、一括発注することで単価の引き下げを行った。</li> </ul> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;"> <p>○防犯カメラ1台設置する費用（家屋の壁）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度まで      約289,000円</li> <li>・平成28年度から      <u>約115,000円</u></li> </ul> </div> <div style="text-align: center;">  <p><b>なんと！60%もお安くなった</b></p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見積合わせと一括発注することで防犯カメラの機種が決まり、これまでのように各町内会の好きな機種を設置することはできないが、13学区全ての自治連合会を通じて地域の方々に御理解をいただいた。</li> </ul>
<p>効果</p>	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;"> <p>😊 町内会で設置する台数が大幅に増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度～平成27年度の5年間で      53台設置。</li> </ul> <p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold; font-size: 2em;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度 64台、平成29年度 64台、平成30年度 62台</li> </ul> </div> <div style="text-align: center;">  <p><b>3年間で 190台設置！</b></p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="margin-right: 20px;"> <p>😊 刑法犯認知件数が着実に減少！！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年 2,091件      →      平成30年 801件</li> </ul> </div> <div style="text-align: center;">  <p><b>62%減少！</b></p> </div> </div>


件名	「いい夫婦の日」に京北で届出挙式
発表者 所属	右京区京北出張所
改善前 (課題等)	毎年11月22日(いい夫婦の日)は、全国的に最も婚姻届の提出が多い日であるが、例年、この日に京北出張所に婚姻届を提出される新夫婦がない状況が続いていた。
内容	<p>平成30年11月22日の「いい夫婦の日」に、京北出張所へ婚姻届を提出される新夫婦に、出張所内でシンプルながらも心のこもった結婚式を実施する取組を行った。</p> <p>結婚届を提出していただくことで、京北のファンとなってもらい、京北に来てもらうことで魅力を知っていただき、定住につなげることを目的とした。</p> <p>当日は、京北出張所の3階ホールにて結婚式を行い、京北合同庁舎の職員や地域の皆さんで、お祝いを行った。また、終了後のサプライズとして、「白馬の馬車」に乗っていただき、京北の自然を満喫いただいた。記念品として、京北名産北山杉で作成した「思い出婚姻証」や「夫婦箸」、届出時の写真を挟んだ「京北婚姻メモリアル証」及び「京北野菜の引換券2回分(春・夏)」を贈呈した。</p>
効果	<p>参加していただいた2組の夫婦の感想としては</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 普通に婚姻届を提出するよりも気持ち的にはしっかりしなければ、これから一緒に頑張っていきたいなという気持ちになりました。</li> <li>• 少しずつ「結婚」の実感が湧いてきました。</li> <li>• 将来的には京北に住みたいと思っているので、そういうきっかけにもなったと思います。</li> </ul> <p>などの言葉をいただいた。</p> <p>今後も、このような取組により、京北のファンを増やし、京北に来ていただき、知っていただくことで定住へとつなげていきたい。</p>





<p>件名</p>	<h2>ヤクルトレディが伏見消防団に入団</h2> <p>～地域の皆様に「健康」と「安心安全」をお届けします～</p>	
<p>発表者 所属</p>	<p>消防局 伏見消防署醍醐消防分署</p>	
<p>改善前 (課題等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 消防団員数の減少，サラリーマン団員の割合の増加により，昼間における消防団力が手薄になっている。</li> <li>○ 消防団における女性の割合が増加している一方，子育て世代の女性においては，子供が小さい，仕事・家事との両立が困難という理由で，消防団に興味がありながら，入団を躊躇される方もいる。</li> </ul>	
<p>内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 京滋ヤクルト醍醐センター勤務のヤクルトレディ7人が，伏見消防団に入団し，ヤクルト配達中にお客様に対し防火防災を呼び掛けるとい新しい形の消防団活動。</li> <li>○ 親しみやすい消防団活動を目指し，「だいでFIREフローラ」という愛称を付けた。この愛称は，ヤクルトレディの皆さんが考案。 ※「フローラ」は，ヤクルトラしく，健康に関わる「腸内フローラ」という言葉に由来している。</li> <li>○ 配達用バイクに，防火ステッカー及び消防団入団募集ステッカーを貼り付けて走行し，地域の隅々まで広報活動を実施している。</li> </ul>	
<p>効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ヤクルトレディ7人が，そのお客様約1,000人を「見守りの目」と消防団としての「防火防災の目」で，常に見守っている。</li> <li>○ お客様にも，ヤクルトレディが消防団員として活動していることを好意的に受け止めていただいている。</li> <li>○ 横大路センター，塔南センター及び本社センターのヤクルトレディも伏見消防団及び南消防団に入団（合計31名）し，同様の活動を開始する先駆けとなった。</li> <li>○ ヤクルトは全国に事業展開していることから，この活動が新しい消防団活動のモデルケースとして全国に広がっていくことが期待される。</li> </ul>	

件名	<h1>地下鉄四条駅階段通行区分～ズバッと分けたい～</h1>
発表者 所属	<p>交通局 高速鉄道部 運輸課</p>
改善前 (課題等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地下鉄四条駅は阪急との連絡駅であり、乗換口に近い北側の階段を利用されるお客様が多く、列車の到着時は多くのお客様が一気に階段を上られるため、ホームに降りて来られるお客様と交錯し、渋滞が発生していた。</li> <li>• 上り側の階段幅を広くとる形で金属製の手摺りを設置していたが、近年、お客様の動線も変化してきたことから、手摺りの設置位置を改善してほしいという要望が多く寄せられていた。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 平成29年度にエスカレーターの老朽化に伴う更新工事を行うに際し、エスカレーターが使用できない期間は階段の御利用が多くなることが予想されるため、安全確保と流動をスムーズにするため、階段手摺りを撤去することとした。</li> <li>• 階段中央部に白線の通行区分ラインを設け、上りと下りの階段上部及び蹴込部分にわかりやすい色で区分を施すこととし、上り側からは一目でわかるよう蹴込箇所に矢印と色を塗り分けることで上りと下りを明確にした。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>改善前</p>  <p>階段上より</p> </div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">➔</div> <div style="text-align: center;"> <p>改善後</p>  <p>階段下（ホーム）より</p> <p>階段上より</p> </div> </div>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手摺りを撤去することで物理的な制限をなくすかわりに、色分けによる明確な通行区分とすることで、自然とお客様が上りと下りに分かれて通行されるようになった。</li> <li>• これまで多く寄せられていた階段が利用しにくいといった苦情もなくなり、交錯していたお客様の通行の流れもスムーズになり改善がみられた。</li> </ul>

件名	<b>自動券売機における「地下鉄一日券」発売による効果について</b>	
発表者 所属	交通局高速鉄道部電気課	
改善前 (課題等)	<p>1 「地下鉄一日券」は駅職員による窓口発売が主体であった。自動機はカード自動販売機のみであり、当該機器の設置駅が国際会館、北大路、四条、京都、山科、三条京阪駅に限定されていた。その他の駅では、原則駅職員による有人 BOX または駅務室で手売りとなっていて、お客様にとって発売場所がわかりにくい状況であった。</p> <p>2 手売りしている媒体（プラスチック券）のコストが1枚凡そ31円かかること。</p> <p>3 駅職員が発売対応する時間等の負荷（有人 BOX による発売であればその間他のお客様への対応が出来ない）</p>	
内容	<p>1 平成30年3月17日より、地下鉄全駅券売機にて「地下鉄一日券」の発売を開始した。その際、訪日外国人が急増していることも鑑み「4箇国語」にて案内周知を施し、発売媒体も、4箇国語表記することやQRコードを券面に付与し、携帯電話等で読み取ると「京都市バス・地下鉄ガイド」にリンクするようにし、優待施設や利用方法を認識頂き、従来よりも円滑にお客様にご利用いただけるよう対応した点。</p> <p>2 従来のプラスチック券ではなく、普通券で使用するロール紙に「地下鉄一日券」の情報を載せコストダウンを実施した点。</p>	 <p style="text-align: center;">&lt;英語表記&gt;</p>
効果	<p>経費縮減のため、ロール紙という普通券同様の媒体で発売することでコストを大幅に縮減した点（1枚31円から1円にコストダウン）。平成30年4月1日～平成31年2月末日迄の11箇月間の発売実績が760,185枚であり、1枚当たり30円のコストダウンによる経済効果は年間想定 <b>25,100千円</b>である。導入コストは <b>77,883千円</b>であったが、3年程度で導入コストがペイでき、以後経費縮減に寄与できるものとする。</p>	